

# 正福寺木造金剛力士立像が 滋賀県指定有形文化財に



▲正福寺山門に安置される金剛力士立像

甲賀市甲南町杉谷の正福寺が所蔵する木造金剛力士立像が、滋賀県文化財保護審議会の答申を受け、3月17日、滋賀県指定有形文化財に指定されました。

正福寺は、寺伝では聖徳太子の建立と伝えられる臨濟宗の寺院で、木造十一面観音立像と木造釈迦如来坐像はいずれも重要文化財に、木造地藏菩薩坐像は市指定文化財となっており、地域の拠点寺院として多くの文化財を有しています。

この木造金剛力士立像は、像高が、阿形像197.5cm、吽形像197.4cmで、ケヤキ材の一木造です。重量感にあふれながら動きを抑制した穏やかな作風で、制作は11世紀後半の平安時代後期頃とみられます。平安時代にさかのぼる金剛力士立像の作例は少なく、滋賀県内では本像を含む3例のみで、当初の部材を多くとどめている点も貴重であると評価されています。また、本像は屋外に安置されており、経年劣化による傷みが激しくなったため、令和元年度から3年度にかけて保存修理が行われました。

本像は山門に安置されており、いつでもご覧いただけますので、皆様もぜひお越しください、長い歴史を重ねた金剛力士像の迫力を感じてみるにはいかがでしょうか。

問合せ 歴史文化財課 調査管理係 TEL:69-2250 FAX:69-2293



## みんなの図書館

7月15日～  
8月14日まで  
の行事予定

| 行事名      | 内容              | 開催日                  | 時間                | 場所      |
|----------|-----------------|----------------------|-------------------|---------|
| 対面朗読     | 対面朗読 *事前予約要     | 7月21日(金)<br>8月 4日(金) | 13時30分～<br>15時30分 | 甲南図書交流館 |
| ギャラリー    | 土と炎が織りなす信楽紀行写真展 | 6月25日(日)～7月23日(日)    |                   | 信楽図書館   |
|          | 金石(鉱物)写真とそのモデル展 | 7月 1日(土)～7月29日(土)    |                   | 甲賀図書情報館 |
|          | 一筆彩意画作品展        | 7月21日(金)～8月10日(木)    |                   | 甲南図書交流館 |
| その他      | 夏休み工作教室         | 7月25日(火)             | 10時30分～<br>12時    | 水口図書館   |
|          |                 | 7月29日(土)             |                   | 信楽図書館   |
|          |                 | 7月22日(土)             | 10時30分～<br>11時30分 | 土山図書館   |
|          |                 | 8月 3日(木)             |                   | 甲南図書交流館 |
| 8月 6日(日) | 甲賀図書情報館         |                      |                   |         |

〈課題図書(青少年読書感想文全国コンクール課題図書)についてのお知らせ〉

より多くの方が課題図書を利用できるように、7月1日から8月31日までの間は

①貸出期間は1週間 ②延長不可とさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いします。

問合せ申込み

- 水口図書館 tel 63-7400 fax 63-4737
- 土山図書館 tel 66-1056 fax 66-1067
- 甲賀図書情報館 tel 88-7246 fax 88-7005
- 甲南図書交流館 tel 86-1504 fax 86-1505
- 信楽図書館 tel 82-0320 fax 82-3921

休館日  
閉館日

- 木・金・第3水曜日
- 月・火・第4金曜日
- 木・金・第4水曜日
- 月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は左記または甲賀市図書館ホームページまで  
http://lib.city.koka.lg.jp



消防団員○○さんの

# 二万流!

Vol.8

先輩団員の  
カッコイイ姿に憧れて



広報・企画担当として  
お仕事をされる  
中野さん

変身!

ポンプ操法大会  
審査中

水口方面隊 第一分団  
副分団長  
中野 悠さん

Q. 消防団員になろうとしたきっかけは?

先輩団員のカッコイイ消防団員姿を見たことがきっかけです。

新入社員として働いて半年くらいの時、宿直中に職場で火災が発生し、慣れていないこともあって消防署の方との現場対応に手こずり、自分の無力さを痛感していました。その時、同じ職場の先輩が消防団員として現れて、テキパキと対応している姿がカッコよく、憧れを抱きました。このことは今でも鮮明に覚えています。その後、職場で先輩に消防団のことについて詳しく教えてもらい、翌年に入団しました。

Q. お仕事や生活との両立は大変ではないですか?

職場の男性社員の約4割が消防団員に加入していることもあって、職場での理解が高いです。仕事柄火災に対して敏感なので、消防からの連絡が気付いていなくても、職場での連絡で動いたり、職場の人から声をかけてもらったりと恵まれた環境で仕事ができていると思います。

Q. 消防団員をしていて良かったと思うこと(経験など)は?

消防団にはさまざまな職種の方が在籍しているので、人脈が広がったことがいざばんだと思います。地域イベントに声をかけてもらって参加したり、普段のお仕事にも繋がったりといろんな面で交友関係が広まりました。そのほか、地元自治振興会のイベントでポンプ操法訓練を披露した時に、地元の人からの評価をもらったことが心に残っています。地元の人たちにも消防に対して興味を持ってもらうことで、自分たちのまちは自分たちで守る。という意識が広まっていけばよいと思います。